

感染症情報 3月3日～9日

府下小児科193医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	2,478例	(堺市 240例)
②RSウイルス感染症	339例	(堺市 32例)
③溶連菌感染症	263例	(堺市 48例)
④突発性発疹	45例	(堺市 3例)
⑤咽頭結膜熱	39例	(堺市 5例)

府下301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 524例(堺市 35例)

報告数による順位。前週比17.0%増の3,259件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から20%増、堺市で前週187例→今回240例(28%増)。RSウイルス感染症が府下で4%減、堺市で前回26例→今回32例。溶連菌感染症が府下で44%増、堺市で前週20例→今回48例(140%増)。定点当たり大阪府で1.36、堺市は2.53であった。咽頭結膜熱が府下で20%減、堺市で前週4例→今回5例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週7例→今回1例。ようやく落ち着いたよう。

インフルエンザが府下で前週527例→今回524例で1%減。堺市は前週23例→今回35例で52%増。定点当たり大阪府は1.74、堺市は1.21であった。大阪府下の6ブロックで増加していたとある。

府下301医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 754例(堺市 83例)
大阪府定点 2.50 堺市定点 2.86

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
41	55	66	89	62	58	51	68	60	95	109	754

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回862例→今回754例で13%減、定点当たり2.85→2.50であった。堺市で前週103例→今回83例で19%減、定点当たり3.55→2.86であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。